

科目名		解剖学概論							年度	2025
英語科目名		Introduction to Human Anatomy							学期	前期
学科・学年		スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		加藤基	教員の実務経験		有	実務経験の職種		大学講師		
【科目の目的】 スポーツ指導者としてトレーニング指導・コンディショニング指導の基盤となる知識でもある骨・関節・筋肉・神経・血管などの解剖学を理解することを目的とします。										
【科目の概要】 骨格、筋肉、心臓、血管、呼吸器、神経などの構造と機能について学びます。										
【到達目標】 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(アスレティックトレーナー、ジュニアスポーツ指導員、水泳指導員、テニス指導員、テニス教師など)に共通して必要となる基礎的な教養を身につけることを目標とします。スポーツ指導者としてトレーニング指導・コンディショニング指導の基盤となる知識でもある骨・関節・筋肉・神経・血管などの解剖学を理解し、しっかり覚えましょう。 A. 身体の構造と機能についての正しい知識を身につけ、身体形態の発育と発達に関するしっかりとした知識を身につけている B. 身体の働きについて、運動生理学的・バイオメカニクスの観点からその仕組みと働きについて、しっかりと理解している C. スポーツ指導に必要な健康管理について、スポーツ医科学的観点からしっかりと理解している D. アスリートに多い内科系疾患についての知識をしっかりと身につけている										
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	身体の構造と機能についての正しい知識を身につけ、身体形態の発育と発達に関するしっかりとした知識を身につけている		身体の構造と機能についての正しい知識を身につけ、身体形態の発育と発達に関するある程度の知識を身につけている		身体の構造と機能についての正しい知識を身につけ、身体形態の発育と発達に関する知識を身につけていない					
到達目標 B	身体の働きについて、運動生理学的・バイオメカニクスの観点からその仕組みと働きについて、しっかりと理解している		身体の働きについて、運動生理学的・バイオメカニクスの観点からその仕組みと働きについて、ある程度理解している		身体の働きについて、運動生理学的・バイオメカニクスの観点からその仕組みと働きについて、理解していない					
到達目標 C	スポーツ指導に必要な健康管理について、スポーツ医科学的観点からしっかりと理解している		スポーツ指導に必要な健康管理について、スポーツ医科学的観点からある程度理解している		スポーツ指導に必要な健康管理について、スポーツ医科学的観点から理解していない					
到達目標 D	アスリートに多い内科系疾患についての知識をしっかりと身につけている		アスリートに多い内科系疾患についての知識をある程度身につけている		アスリートに多い内科系疾患についての知識を身につけていない					
【教科書】 J S P Oリファレンスブック										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

